

# 平成31年は「産」の年に

**新**年明けましておめでとうございませう。市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい平成31年の新春を迎えられ、謹んでお慶びを申し上げます。

また、旧年中は、市政運営に對しまして、深いご理解並びに温かいご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の干支は、亥（イノシシ）です。亥は、勇気と無病息災の象徴とも言われています。私も、市長として初めてのお正月を迎え、勇気を持って、つくばみらい市の変革にあたっていききたいと、心を新たにしたいところです。

## 「産」に込めた思い

新年を迎え、私は今年の抱負を「産」の漢字一文字で表現しました。この「産」という字には3つの意味を込めています。

1つ目は、安心して子どもを「産み」育てられる環境づくりです。子育て支援策の充実はも

ちろん、市長就任直後から着手している義務教育施設の適正配置についても、昨年8月から推進室を新たに設置しました。住民アンケートの実施や説明会を開催するなど、市民の皆さんの声を伺いながら、強い意志を持って進めてまいります。

2つ目は産業の「産」です。昨年11月19日に起工式を行った福岡工業団地は、今年から本格的に工事が始まります。竣工は来年秋となりますが、本市における産業の新たな核となる事業であり、大いに期待しているところです。

そして3つ目は生産の「産」です。本市には、おいしいお米や野菜など魅力的な農産物が多くあります。昨年12月からは4Hクラブの皆さんに協力をいただき、朝市も始まりました。まずは市民の皆さんにつくばみらい市産農産物のおいしさを知ってもらい、将来的に販路を拡大していければと思っております。

## 茨城国体の年

今年が茨城で43年ぶりとなる国体が開催されます。本市でもデモンストレーションスポーツとして3種目を開催します。市民の皆さんと一緒に、この一大イベントを盛り上げていきたいと思っております。

## 組織機構改革で、市民に寄り添うまちづくりへ

現在、市民の皆さんの声をより聴くことのできる体制の構築、そしてスマートインターチェンジなど特定プロジェクトをより強力で推進するための組織機構の改革を進めています。

この新しい組織機構は、この4月からスタートします。これからも「市民に寄り添うまちづくり」の実現に向け、各施策に取り組んでまいりますので、本年もどうぞよろしく願います。



つくばみらい市長

小田川 浩